

## 第 11 章 環境汚染防止

### 1 概 略

本市では、一般廃棄物処理事業に伴い、ごみの焼却施設、ごみの最終処分場（埋立処分場）、最終処分場からの浸出水処理施設及びし尿処理施設を有している。

これらの施設から排出される水質汚濁物質等の環境汚染物質については、公害関係法令及び廃棄物処理関係法令によって排出規制の適用を受けており、また、本市と施設周辺の住民との間で公害防止協定等を締結し、法令よりさらに厳しい基準値を定めている。

本市では、これらの法令等に基づき、定期的に放流水の水質等を測定し、その結果を取りまとめて地元住民へ報告するとともに、施設の維持管理を徹底し、環境汚染の防止に努めている。

### 2 東工場ごみ焼却施設

#### (1) 排水

東工場は、水質汚濁防止法に定める特定施設（一般廃棄物焼却炉）に該当し、同法の規制対象である。

当初、排水（プラント系及び生活系）は、工場内の排水処理設備で処理後、プラント系の使用水として再利用し、余剰水については、東工場埋立処分地浸出水処理施設で再処理して公共水域に放流していた。令和元年度からは、水処理工程を工夫することにより、処理水の全量を工場内で再利用しており、余剰水は発生していない。

当該施設については、昭和 58 年 3 月に地元と公害防止協定を締結し、処理水の基準値を定めている。

令和 6 年度の再利用水の水質測定結果を表 1 に示す。

#### (2) 排ガス

東工場は、大気汚染防止法に定めるばい煙発生施設に該当し、同法の規制対象となっている。

また、前述の公害防止協定により、厳しい基準値を定めている。

令和 6 年度の排ガス測定結果を表 2 に示す。

### 3 東工場埋立処分地浸出水処理施設

#### (1) 排水

当該埋立処分地は、平成 15 年 5 月まで管理型処分場として東工場からの焼却灰及び破碎した粗大ごみのうちの不燃物を処分しており、平成 26 年 10 月に廃止確認を受けた。

浸出水処理施設では、埋立地からの浸出水を処理し、公共水域に放流している。この放流水の水質については、公害防止協定により、厳しい基準値を定めている。

令和 6 年度の処理水の水質測定結果を表 3 に示す。

### 4 西工場ごみ焼却施設

#### (1) 排水

西工場は、水質汚濁防止法に定める特定施設（一般廃棄物焼却炉）に該当し、同法の規制対象である。

西工場の排水（プラント系及び生活系）は工場内の排水処理施設で処理したのち循環再利用し、施設停止等により循環再利用できなくなったプラント系排水は下水道へ放流するため当該地での排出はない。

令和 6 年度の再利用水の水質測定結果を表－ 4 に示す。

(2) 排ガス

西工場は、大気汚染防止法に定めるばい煙発生施設に該当し、同法の規制対象となっている。

令和 6 年度の排ガス測定結果を表－ 5 に示す。

## 5 三京クリーンランド埋立処分場

(1) 排水

三京クリーンランド埋立処分場では、燃やせないごみと本市内 2 つのごみ焼却工場からの焼却灰を処分しており、当該施設では、埋立地からの浸出水を処理し、公共用水域に放流している。この放流水の水質については、廃棄物処理法の規制対象となっている。

令和 6 年度の処理水の水質測定結果を表－ 6 に示す。

## 6 琴海クリーンセンター

(1) 排水

琴海クリーンセンターは、茂里町のクリーンセンターが廃止されたことに伴い、平成 27 年度末から再稼働し、長崎市内のし尿及び浄化槽汚泥を処理している。当該施設は水質汚濁防止法に定める特定施設（し尿処理施設）に該当し、同法の規制対象となっている。

平成 26 年 3 月に地元と環境保全協定を締結し、法的基準より厳しい基準値が定められ、当該施設の処理水は、大村湾へ放流している。

令和 6 年度の処理水の水質測定結果を表－ 7 に示す。

## 7 長崎半島クリーンセンター

(1) 排水

長崎半島クリーンセンターは、茂里町のクリーンセンターが廃止されたことに伴い、平成 27 年度末から再稼働し、長崎市内のし尿及び浄化槽汚泥を処理している。当該施設は水質汚濁防止法に定める特定施設（し尿処理施設）に該当し、同法の規制対象となっている。

平成 27 年 3 月及び 4 月に地元と環境保全協定を締結し、法的基準より厳しい基準値が定められ、当該施設の処理水は、橘湾へ放流している。

令和 6 年度の処理水の水質測定結果を表－ 8 に示す。

## 8 ダイオキシン類の測定

大気汚染防止法施行令の一部改正（平成 9 年 1 2 月 1 日施行）によって、ダイオキシン類は指定物質となり、その排出基準が定められるとともに、廃棄物処理法に基づく施行令及び施行規則が改正（平成 9 年 1 2 月 1 日施行）され、廃棄物処理施設から排出されるダイオキシン類を削減するため、施設の構造基準及び維持管理基準が強化された。

また、平成 1 2 年 1 月 1 5 日に「ダイオキシン類対策特別措置法」が施行され、併せて廃棄物処理法等も改正され、ばいじん等に含まれるダイオキシン類 濃度基準や埋立処分場周縁地下水のダイオキシン類測定の義務が課せられたことなどにより、平成 1 2 年度から、これらの新しい規制に対応したダイオキシン類の測定を実施している。

令和 6 年度のダイオキシン類の測定結果を表 9 に示す。

表—1 東工場再利用水測定結果

項 目		基準値	令和 6 4/19	5/8	6/6	7/4	8/8	9/11
生活環境項目	水素イオン濃度	5.8~8.6 (協) 5.8~8.6	7.1	7.1	7.2	7.7	7.3	7.5
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	160 平均 120 (協) 最大 15 平均 10	1.9	1.2	1.6	1.4	1.0	1.4
	浮遊物質量 (mg/l)	200 平均 150 (協) 最大 30 平均 20	1	<1	<1	<1	<1	<1
健康項目	カドミウム及びその化合物 (mg/l)	0.03 (協) 0.03	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	シアン化合物 (mg/l)	1 (協) 0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	有機燐化合物 (mg/l)	1 (協) 0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	鉛及びその化合物 (mg/l)	0.1 (協) 0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	六価クロム化合物 (mg/l)	0.5 (協) 0.25	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
	砒素及びその化合物 (mg/l)	0.1 (協) 0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	水銀及び7μg/l水銀その他の水銀化合物 (mg/l)	0.005 (協) 0.0025	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	ポリ塩化ビフェニル (mg/l)	0.003 (協) 0.0015	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005

項 目		基準値	令和 6 10/2	11/8	12/3	令和 7 1/8	2/10	3/10
生活環境項目	水素イオン濃度	5.8~8.6 (協) 5.8~8.6	7.7	7.3	7.3	7.2	7.4	7.1
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	160 平均 120 (協) 最大 15 平均 10	1.6	<0.5	1.3	1.3	2.6	2.4
	浮遊物質量 (mg/l)	200 平均 150 (協) 最大 30 平均 20	<1	<1	<1	<1	1	<1
健康項目	カドミウム及びその化合物 (mg/l)	0.03 (協) 0.03	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	シアン化合物 (mg/l)	1 (協) 0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	有機燐化合物 (mg/l)	1 (協) 0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	鉛及びその化合物 (mg/l)	0.1 (協) 0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	六価クロム化合物 (mg/l)	0.5 (協) 0.25	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
	砒素及びその化合物 (mg/l)	0.1 (協) 0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	水銀及び7μg/l水銀その他の水銀化合物 (mg/l)	0.005 (協) 0.0025	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	ポリ塩化ビフェニル (mg/l)	0.003 (協) 0.0015	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005

(注) 基準値は、水質汚濁防止法に基づく法定値である。

(注) (協) に示す数字は、地元との協定による排出基準値である。

表—2 東工場排ガス測定結果

		1号炉		2号炉			
		令和 6 5/7	9/3	令和 6 7/3	11/1	令和 7 1/8	3/12
硫黄酸化物	K 値	8.76 (協) 2.34	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
ばいじん濃度	(g/m <sup>3</sup> N) 換算値	0.08 (協) 0.03	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
窒素酸化物濃度	(ppm) 換算値	250 (協) 135	80	72	76	76	66
塩化水素濃度	(mg/m <sup>3</sup> N) 換算値	700 (協) 220	1.3	1.9	2.9	0.3	0.7
水銀 (ガス状)	(μg/m <sup>3</sup> N) 換算値	-	0.35	0.12	0.28	1.1	0.33
水銀 (粒子状)	(μg/m <sup>3</sup> N) 換算値	-	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.00084	<0.0002
水銀 (全水銀)	(μg/m <sup>3</sup> N) 換算値	50 (協) 50	0.35	0.12	0.28	1.1	0.33

(注) (協) に示す数字は、地元との協定による排出基準値である。

表—3 東工場埋立処分地処理水測定結果

項 目	基準値	令和 6 4/19	5/8	6/6	7/4	8/8	9/11
水素イオン濃度	5.8~8.6 (協)5.8~8.6	7.4	7.3	7.3	7.4	7.5	7.5
生物化学的酸素要求量 (mg/l)	最大 160 平均 120 (協)最大 15 平均 10	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	0.7
化学的酸素要求量 (mg/l)	最大 160 平均 120	5.3	3.2	3.8	5.3	4.5	3.1
浮遊物質量 (mg/l)	最大 200 平均 150 (協)最大 30 平均 20	<1	<1	<1	<1	<1	<1
カドミウム及びその化合物 (mg/l)	0.03 (協)0.03	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
シアン化合物 (mg/l)	1 (協)0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
有機磷化合物 (mg/l)	1 (協)0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛及びその化合物 (mg/l)	0.1 (協)0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム化合物 (mg/l)	0.5 (協)0.25	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
砒素及びその化合物 (mg/l)	0.1 (協)0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及び7種水銀その他の水銀化合物 (mg/l)	0.005 (協)0.0025	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル (mg/l)	0.003 (協)0.0015	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物 (mg/l)	検出されないこと	—	—	検出せず	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	<0.03	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	<0.01	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.2	—	—	<0.02	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.02	—	—	<0.002	—	—	—
一・二—ジクロロエタン (mg/l)	0.04	—	—	<0.004	—	—	—
一・一—ジクロロエチレン (mg/l)	1	—	—	<0.02	—	—	—
シス—一・二—ジクロロエチレン (mg/l)	0.4	—	—	<0.04	—	—	—
一・一・一—トリクロロエタン (mg/l)	3	—	—	<0.3	—	—	—
一・一・二—トリクロロエタン (mg/l)	0.06	—	—	<0.006	—	—	—
一・三—ジクロロプロペン (mg/l)	0.02	—	—	<0.002	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.06	—	—	<0.006	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03	—	—	<0.003	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.2	—	—	<0.02	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.1	—	—	<0.01	—	—	—
セレン及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	<0.01	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (mg/l)	5	—	—	<1.0	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/l)	30	—	—	<1.0	—	—	—
フェノール類含有量 (mg/l)	5	—	—	<0.5	—	—	—
銅含有量 (mg/l)	3	—	—	<0.1	—	—	—
亜鉛含有量 (mg/l)	2	—	—	<0.1	—	—	—
溶解性鉄含有量 (mg/l)	10	—	—	<0.1	—	—	—
溶解性マンガン含有量 (mg/l)	10	—	—	0.2	—	—	—
クロム含有量 (mg/l)	2	—	—	<0.1	—	—	—
ほう素及びその化合物 (mg/l)	10	—	—	<1.0	—	—	—
ふっ素及びその化合物 (mg/l)	8	—	—	<1.0	—	—	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/l)	100	—	—	4.7	—	—	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	日間平均 3,000	—	—	0	—	—	—
一・四—ジオキサン (mg/l)	0.5	—	—	<0.005	—	—	—

(注) 基準値は、水質汚濁防止法の法定値を準用。

(注) (協)に示す数字は、地元との協定による排出基準値である。

項 目	基準値	令和 6 10/2	11/8	12/3	令和 7 1/8	2/10	3/10
水素イオン濃度	5.8~8.6 (協)5.8~8.6	7.5	7.3	7.4	7.4	7.5	7.5
生物化学的酸素要求量 (mg/l)	最大 160 平均 120 (協)最大 15 平均 10	0.6	2.4	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
化学的酸素要求量 (mg/l)	最大 160 平均 120	3.9	3.4	3.4	2.7	3.3	2.8
浮遊物質 (mg/l)	最大 200 平均 150 (協)最大 30 平均 20	2	<1	<1	<1	<1	<1
カドミウム及びその化合物 (mg/l)	0.03 (協)0.03	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
シアン化合物 (mg/l)	1 (協)0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
有機燐化合物 (mg/l)	1 (協)0.5	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛及びその化合物 (mg/l)	0.1 (協)0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
六価クロム化合物 (mg/l)	0.5 (協)0.25	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
砒素及びその化合物 (mg/l)	0.1 (協)0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
水銀及び7種水銀その他の水銀化合物 (mg/l)	0.005 (協)0.0025	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル (mg/l)	0.003 (協)0.0015	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物 (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.2	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.02	—	—	—	—	—	—
一・二・ジクロロエタン (mg/l)	0.04	—	—	—	—	—	—
一・一・一・ジクロロエチレン (mg/l)	1	—	—	—	—	—	—
シス一・一・二・ジクロロエチレン (mg/l)	0.4	—	—	—	—	—	—
一・一・一・一・トリクロロエタン (mg/l)	3	—	—	—	—	—	—
一・一・一・二・トリクロロエタン (mg/l)	0.06	—	—	—	—	—	—
一・三・ジクロロプロペン (mg/l)	0.02	—	—	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.06	—	—	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.2	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (mg/l)	5	—	—	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/l)	30	—	—	—	—	—	—
フェノール類含有量 (mg/l)	5	—	—	—	—	—	—
銅含有量 (mg/l)	3	—	—	—	—	—	—
亜鉛含有量 (mg/l)	2	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄含有量 (mg/l)	10	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン含有量 (mg/l)	10	—	—	—	—	—	—
クロム含有量 (mg/l)	2	—	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物 (mg/l)	10	—	—	—	—	—	—
ふっ素及びその化合物 (mg/l)	8	—	—	—	—	—	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/l)	100	—	—	—	—	—	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	日間平均 3,000	—	—	—	—	—	—
一・四・ジオキサン (mg/l)	0.5	—	—	—	—	—	—

(注) 基準値は、水質汚濁防止法の法定値を準用。

(注) (協)に示す数字は、地元との協定による排出基準値である。

表—4 西工場再利用水測定結果

項目	基準値	令和6 4/5	5/10	6/4	7/2	8/6	9/6	10/4	11/1	12/6	令和7 1/10	2/7	3/7
水素イオン濃度	5.8~8.6	7.1	7.4	7.4	7.2	7.5	7.4	7.4	7.2	7.5	7.5	7.4	7.5
大腸菌	検出されないこと	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず
濁度(度)	2以下	0.3	0.2	<0.1	0.2	0.2	0.3	3.6	0.7	0.2	0.3	0.2	0.3
外観	不快でないこと	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	微黄色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明
色度(度)	—	2	1	<0.1	1	<0.1	2	14	4	<0.1	<0.1	1	1
臭気	不快でないこと	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし
残留塩素(mg/l)	(注)	0.5	0.5	0.8	0.2	0.1	0.6	0.4	0.4	0.6	0.6	0.3	0.3

(注) 基準値は、下水処理水の再利用水質基準等マニュアルに基づく。

(注) 遊離残留塩素 0.1mg/l 又は結合

残留塩素 0.4mg/l 以上

表—5 西工場排ガス測定結果

		1号炉											
		令和6 4/30	5/15	6/1	7/18	8/1	9/2	10/1	11/5	12/2	令和7 1/14	2/3	3/13
硫酸化物 (ppm) 換算値	20 (協)	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4	0.5	<0.4	<0.4	<0.4
ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N) 換算値	0.01 (協)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
窒素酸化物濃度 (ppm) 換算値	50 (協)	31	28	26	22	27	29	25	28	27	29	27	28
塩化水素濃度 (mg/m <sup>3</sup> N) 換算値	50 (協)	1.1	1.1	1.8	0.8	2.0	0.5	1.2	5.6	1.4	2.0	1.7	4.1
水銀(ガス状) (μg/m <sup>3</sup> N) 換算値	—	—	0.13	—	—	—	—	—	0.14	—	—	—	—
水銀(粒子状) (μg/m <sup>3</sup> N) 換算値	—	—	<0.0003	—	—	—	—	—	<0.0003	—	—	—	—
水銀(全水銀) (μg/m <sup>3</sup> N) 換算値	50 (協)	—	0.13	—	—	—	—	—	0.14	—	—	—	—
		2号炉											
		令和6 4/2	5/31	6/2	7/19	8/2	9/3	10/2	11/6	12/3	令和7 1/15	2/4	3/14
硫酸化物 (ppm) 換算値	20 (協)	<0.4	<0.4	0.7	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4	<0.4
ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N) 換算値	0.01 (協)	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
窒素酸化物濃度 (ppm) 換算値	50 (協)	31	30	30	33	34	32	33	32	32	34	31	31
塩化水素濃度 (mg/m <sup>3</sup> N) 換算値	50 (協)	2.4	0.6	2.3	0.6	1.7	0.8	1.1	2.0	2.2	2.8	3.3	3.0
水銀(ガス状) (μg/m <sup>3</sup> N) 換算値	—	—	0.063	—	—	—	—	—	0.083	—	—	—	—
水銀(粒子状) (μg/m <sup>3</sup> N) 換算値	—	—	0.0004	—	—	—	—	—	0.0006	—	—	—	—
水銀(全水銀) (μg/m <sup>3</sup> N) 換算値	50 (協)	—	0.063	—	—	—	—	—	0.084	—	—	—	—

(注) (協) に示す数字は、地元との協定による排出基準値である。

表—6 三京クリーンランド埋立処分場処理水測定結果

項 目	基準値	令和6 4/7	5/10	6/7	7/24	8/1	9/5
水素イオン濃度	5.8~8.6	7.3	7.1	7	7.1	7.2	7.0
生物化学的酸素要求量 (mg/l)	60	18	7	6	2	2	4
化学的酸素要求量 (mg/l)	90	6.8	7.4	8.2	9.7	9.3	13
浮遊物質 (mg/l)	60	7	6	8	<1	5	6
カドミウム及びその化合物 (mg/l)	0.03	<0.003	—	—	—	—	—
シアン化合物 (mg/l)	1	<0.1	—	—	—	—	—
有機磷化合物 (mg/l)	1	<0.1	—	—	—	—	—
鉛及びその化合物 (mg/l)	0.1	<0.01	—	—	—	—	—
六価クロム化合物 (mg/l)	0.5	<0.05	—	—	—	—	—
砒素及びその化合物 (mg/l)	0.1	<0.01	—	—	—	—	—
水銀及び7種水銀その他の水銀化合物 (mg/l)	0.005	検出せず	—	—	—	—	—
アルキル水銀化合物 (mg/l)	検出されないこと	検出せず	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル (mg/l)	0.003	<0.0005	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.3	<0.01	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.1	<0.01	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.2	<0.02	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.02	<0.002	—	—	—	—	—
一・二・ジクロロエタン (mg/l)	0.04	<0.004	—	—	—	—	—
一・一・一・ジクロロエチレン (mg/l)	1	<0.02	—	—	—	—	—
シス一・一・二・ジクロロエチレン (mg/l)	0.4	<0.04	—	—	—	—	—
一・一・一・一・トリクロロエタン (mg/l)	3	<0.03	—	—	—	—	—
一・一・一・二・トリクロロエタン (mg/l)	0.06	<0.006	—	—	—	—	—
一・三・ジクロロプロペン (mg/l)	0.02	<0.002	—	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.06	<0.006	—	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03	<0.003	—	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.2	<0.02	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.1	<0.01	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物 (mg/l)	0.1	<0.01	—	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (mg/l)	5	<1	—	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/l)	30	<1	—	—	—	—	—
フェノール類含有量 (mg/l)	5	<0.02	—	—	—	—	—
銅含有量 (mg/l)	3	<0.01	—	—	—	—	—
亜鉛含有量 (mg/l)	2	<0.01	—	—	—	—	—
溶解性鉄含有量 (mg/l)	10	0.03	—	—	—	—	—
溶解性マンガン含有量 (mg/l)	10	3.72	3.98	3.81	4.89	5.14	5.02
クロム含有量 (mg/l)	2	<0.05	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物 (mg/l)	50	0.3	—	—	—	—	—
ふっ素及びその化合物 (mg/l)	15	0.3	—	—	—	—	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/l)	200	6	—	—	—	—	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	日間平均 3,000	<100	<100	<100	<100	<100	<100
一・四・ジオキサン (mg/l)	0.5	0.008	—	—	—	—	—

(注) 基準値は、廃棄物処理法に基づく法定値である。

項目	基準値	令和6 10/16	11/7	12/5	令和7 1/9	2/7	3/19
水素イオン濃度	5.8~8.6	7.1	7.2	7.3	7.7	7.7	7.5
生物化学的酸素要求量 (mg/l)	60	10	26	22	19	12	14
化学的酸素要求量 (mg/l)	90	8.3	7.4	7.4	6.5	6.6	6.4
浮遊物質 (mg/l)	60	7	7	7	2	3	4
カドミウム及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
シアン化合物 (mg/l)	1	—	—	—	—	—	—
有機磷化合物 (mg/l)	1	—	—	—	—	—	—
鉛及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
六価クロム化合物 (mg/l)	0.5	—	—	—	—	—	—
砒素及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
水銀及び7種水銀その他の水銀化合物 (mg/l)	0.005	—	—	—	—	—	—
アルキル水銀化合物 (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル (mg/l)	0.003	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.3	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.2	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.02	—	—	—	—	—	—
一・二・ジクロロエタン (mg/l)	0.04	—	—	—	—	—	—
一・一・一・ジクロロエチレン (mg/l)	1	—	—	—	—	—	—
シス一・一・二・ジクロロエチレン (mg/l)	0.4	—	—	—	—	—	—
一・一・一・一・トリクロロエタン (mg/l)	3	—	—	—	—	—	—
一・一・一・二・トリクロロエタン (mg/l)	0.06	—	—	—	—	—	—
一・三・ジクロロプロペン (mg/l)	0.02	—	—	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.06	—	—	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.2	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (mg/l)	5	—	—	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/l)	30	—	—	—	—	—	—
フェノール類含有量 (mg/l)	5	—	—	—	—	—	—
銅含有量 (mg/l)	3	—	—	—	—	—	—
亜鉛含有量 (mg/l)	2	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄含有量 (mg/l)	10	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン含有量 (mg/l)	10	5.47	5.26	5.07	5.28	4.97	4.85
クロム含有量 (mg/l)	2	—	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物 (mg/l)	50	—	—	—	—	—	—
ふっ素及びその化合物 (mg/l)	15	—	—	—	—	—	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/l)	200	—	—	—	—	—	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	日間平均 3,000	<100	<100	<100	<100	<100	<100
一・四・ジオキサン (mg/l)	0.5	—	—	—	—	—	—

(注) 基準値は、廃棄物処理法に基づく法定値である。

表-7 琴海クリーンセンター処理水測定結果

項目	基準値	令和6 4/11	5/14	6/4	7/2	8/6	9/3
水素イオン濃度	5.8~8.6 (協)5.8~8.6	6.8	6.6	7.0	7.0	6.9	6.7
生物化学的酸素要求量 (mg/l)	日間平均 20 (協) 20	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
浮遊物質 (mg/l)	日間平均 40 (協) 40	<1	<1	<1	<1	<1	<1
窒素含有量 (mg/l)	120 (日間平均 60)	1.9	3.8	2.0	1.1	0.7	1.0
磷含有量 (mg/l)	16 (日間平均 8)	0.04	0.05	0.07	0.1	0.06	0.07
カドミウム及びその化合物 (mg/l)	0.03	—	—	—	—	<0.003	—
シアン化合物 (mg/l)	1	—	—	—	—	<0.1	—
有機磷化合物 (mg/l)	1	—	—	—	—	<0.1	—
鉛及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	<0.01	—
六価クロム化合物 (mg/l)	0.5	—	—	—	—	<0.02	—
砒素及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	<0.01	—
水銀及び7種水銀その他の水銀化合物 (mg/l)	0.005	—	—	—	—	<0.0005	—
ポリ塩化ビフェニル (mg/l)	0.003	—	—	—	—	<0.0005	—
アルキル水銀化合物 (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	検出せず	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	<0.01	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	<0.01	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.2	—	—	—	—	<0.02	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.02	—	—	—	—	<0.002	—
一・二・ジクロロエタン (mg/l)	0.04	—	—	—	—	<0.004	—
一・一・一・ジクロロエチレン (mg/l)	1	—	—	—	—	<0.1	—
シス一・一・二・ジクロロエチレン (mg/l)	0.4	—	—	—	—	<0.04	—
一・一・一・一・トリクロロエタン (mg/l)	3	—	—	—	—	<0.3	—
一・一・一・二・トリクロロエタン (mg/l)	0.06	—	—	—	—	<0.006	—
一・一・三・ジクロロプロペン (mg/l)	0.02	—	—	—	—	<0.002	—
チウラム (mg/l)	0.06	—	—	—	—	<0.006	—
シマジン (mg/l)	0.03	—	—	—	—	<0.003	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.2	—	—	—	—	<0.02	—
ベンゼン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	<0.01	—
セレン及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	<0.01	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (mg/l)	5	—	—	—	—	<1.0	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/l)	30	—	—	—	—	<1.0	—
フェノール類含有量 (mg/l)	5	—	—	—	—	<0.05	—
銅含有量 (mg/l)	3	—	—	—	—	<0.02	—
亜鉛含有量 (mg/l)	2	—	—	—	—	<0.01	—
溶解性鉄含有量 (mg/l)	10	—	—	—	—	<0.03	—
溶解性マンガン含有量 (mg/l)	10	—	—	—	—	0.02	—
クロム含有量 (mg/l)	2	—	—	—	—	<0.05	—
ほう素及びその化合物 (mg/l)	10	—	—	—	—	<0.1	—
ふっ素及びその化合物 (mg/l)	8	—	—	—	—	<0.2	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/l)	100	—	—	—	—	0.3	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	日間平均 3,000 (協) 日間平均 3,000	0	0	0	0	0	0
色度 (度)	—	<1	<1	<1	<1	1	1
一・四・ジオキサン (mg/l)	0.5	—	—	—	—	<0.005	—

(注) 基準値は、水質汚濁防止法に基づく法定値である。

(注) (協) に示す数字は、地元との協定による排出基準値である。

項目	基準値	令和6 10/1	11/5	12/3	令和7 1/14	2/4	3/4
水素イオン濃度	5.8~8.6 (協)5.8~8.6	7.0	6.7	6.6	6.6	6.7	6.7
生物化学的酸素要求量 (mg/l)	日間平均20 (協)20	0.8	<0.5	0.5	<0.5	<0.5	<0.5
浮遊物質量 (mg/l)	日間平均40 (協)40	2	<1	1	<1	1	<1
窒素含有量 (mg/l)	120(日間平均60)	1.1	1.4	0.5	4.6	1.4	1.2
燐含有量 (mg/l)	16(日間平均8)	0.06	0.07	0.05	0.06	0.08	0.06
カドミウム及びその化合物 (mg/l)	0.03	—	—	—	—	—	—
シアン化合物 (mg/l)	1	—	—	—	—	—	—
有機燐化合物 (mg/l)	1	—	—	—	—	—	—
鉛及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
六価クロム化合物 (mg/l)	0.5	—	—	—	—	—	—
砒素及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
水銀及び7種水銀その他の水銀化合物 (mg/l)	0.005	—	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル (mg/l)	0.003	—	—	—	—	—	—
アルキル水銀化合物 (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.2	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.02	—	—	—	—	—	—
一・二・ジクロロエタン (mg/l)	0.04	—	—	—	—	—	—
一・一・一・ジクロロエチレン (mg/l)	1	—	—	—	—	—	—
シス一・一・二・ジクロロエチレン (mg/l)	0.4	—	—	—	—	—	—
一・一・一・一・トリクロロエタン (mg/l)	3	—	—	—	—	—	—
一・一・一・二・トリクロロエタン (mg/l)	0.06	—	—	—	—	—	—
一・一・三・ジクロロプロペン (mg/l)	0.02	—	—	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.06	—	—	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.2	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (mg/l)	5	—	—	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/l)	30	—	—	—	—	—	—
フェノール類含有量 (mg/l)	5	—	—	—	—	—	—
銅含有量 (mg/l)	3	—	—	—	—	—	—
亜鉛含有量 (mg/l)	2	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄含有量 (mg/l)	10	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン含有量 (mg/l)	10	—	—	—	—	—	—
クロム含有量 (mg/l)	2	—	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物 (mg/l)	10	—	—	—	—	—	—
ふっ素及びその化合物 (mg/l)	8	—	—	—	—	—	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/l)	100	—	—	—	—	—	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	日間平均3,000 (協)日間平均3,000	0	0	0	0	0	0
色度 (度)	—	<1	<1	<1	<1	<1	<1
一・四・ジオキサン (mg/l)	0.5	—	—	—	—	—	—

(注) 基準値は、水質汚濁防止法に基づく法定値である。

(注) (協)に示す数字は、地元との協定による排出基準値である。

表—8 長崎半島クリーンセンター処理水測定結果

項 目	基準値	令和 6 4/11	5/14	6/4	7/2	8/6	9/3
水素イオン濃度	5.8~8.6 (協)5.8~8.6	8.0	7.9	7.8	7.8	7.9	7.9
生物化学的酸素要求量 (mg/l)	日間平均 120 (協) 10	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
浮遊物質 (mg/l)	日間平均 150 (協) 10	<1	<1	<1	6	<1	5
窒素含有量 (mg/l)	120 (日間平均 60)	4.7	0.9	1.3	1.5	0.9	1.6
磷含有量 (mg/l)	16 (日間平均 8)	<0.01	<0.01	<0.01	0.06	0.01	0.03
カドミウム及びその化合物 (mg/l)	0.03	-	-	-	-	<0.003	-
シアン化合物 (mg/l)	1	-	-	-	-	<0.1	-
有機磷化合物 (mg/l)	1	-	-	-	-	<0.1	-
鉛及びその化合物 (mg/l)	0.1	-	-	-	-	<0.01	-
六価クロム化合物 (mg/l)	0.5	-	-	-	-	<0.02	-
砒素及びその化合物 (mg/l)	0.1	-	-	-	-	<0.01	-
水銀及び7種水銀その他の水銀化合物 (mg/l)	0.005	-	-	-	-	<0.0005	-
ポリ塩化ビフェニル (mg/l)	0.003	-	-	-	-	<0.0005	-
アルキル水銀化合物 (mg/l)	検出されないこと	-	-	-	-	検出せず	-
トリクロロエチレン (mg/l)	0.1	-	-	-	-	<0.01	-
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.1	-	-	-	-	<0.01	-
ジクロロメタン (mg/l)	0.2	-	-	-	-	<0.02	-
四塩化炭素 (mg/l)	0.02	-	-	-	-	<0.002	-
一・二・ジクロロエタン (mg/l)	0.04	-	-	-	-	<0.004	-
一・一・一・ジクロロエチレン (mg/l)	1	-	-	-	-	<0.1	-
シス一・一・二・ジクロロエチレン (mg/l)	0.4	-	-	-	-	<0.04	-
一・一・一・一・トリクロロエタン (mg/l)	3	-	-	-	-	<0.3	-
一・一・一・二・トリクロロエタン (mg/l)	0.06	-	-	-	-	<0.006	-
一・一・三・ジクロロプロペン (mg/l)	0.02	-	-	-	-	<0.002	-
チウラム (mg/l)	0.06	-	-	-	-	<0.006	-
シマジン (mg/l)	0.03	-	-	-	-	<0.003	-
チオベンカルブ (mg/l)	0.2	-	-	-	-	<0.02	-
ベンゼン (mg/l)	0.1	-	-	-	-	<0.01	-
セレン及びその化合物 (mg/l)	0.1	-	-	-	-	<0.01	-
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (mg/l)	5	-	-	-	-	<1.0	-
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/l)	30	-	-	-	-	<1.0	-
フェノール類含有量 (mg/l)	5	-	-	-	-	<0.05	-
銅含有量 (mg/l)	3	-	-	-	-	<0.02	-
亜鉛含有量 (mg/l)	2	-	-	-	-	0.01	-
溶解性鉄含有量 (mg/l)	10	-	-	-	-	<0.03	-
溶解性マンガン含有量 (mg/l)	10	-	-	-	-	0.01	-
クロム含有量 (mg/l)	2	-	-	-	-	<0.05	-
ほう素及びその化合物 (mg/l)	10	-	-	-	-	0.1	-
ふっ素及びその化合物 (mg/l)	8	-	-	-	-	<0.2	-
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/l)	100	-	-	-	-	<0.1	-
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	日間平均 3,000 (協) 日間平均 1000	0	0	0	0	0	0
色度 (度)	(協) 30	1	<1	<1	<1	3	2
一・四・ジオキサン (mg/l)	0.5	-	-	-	-	<0.005	-

(注) 基準値は、水質汚濁防止法に基づく法定値である。

(注) (協) に示す数字は、地元との協定による排出基準値である。

項 目	基準値	令和 6 10/1	11/5	12/3	令和 7 1/14	2/4	3/4
水素イオン濃度	5.8~8.6 (協)5.8~8.6	7.8	7.5	7.6	7.7	7.3	7.3
生物化学的酸素要求量 (mg/l)	日間平均 120 (協) 10	0.6	<0.5	2.6	<0.5	0.5	0.7
浮遊物質 (mg/l)	日間平均 150 (協) 10	1	<1	1	2	1	<1
窒素含有量 (mg/l)	120 (日間平均 60)	1.3	3.8	2.5	1.6	2.7	2.4
炭含有量 (mg/l)	16 (日間平均 8)	0.02	<0.01	<0.01	0.01	0.01	<0.01
カドミウム及びその化合物 (mg/l)	0.03	—	—	—	—	—	—
シアン化合物 (mg/l)	1	—	—	—	—	—	—
有機燐化合物 (mg/l)	1	—	—	—	—	—	—
鉛及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
六価クロム化合物 (mg/l)	0.5	—	—	—	—	—	—
砒素及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
水銀及び7種水銀その他の水銀化合物 (mg/l)	0.005	—	—	—	—	—	—
ポリ塩化ビフェニル (mg/l)	0.003	—	—	—	—	—	—
アルキル水銀化合物 (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.2	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.02	—	—	—	—	—	—
一・二ジクロロエタン (mg/l)	0.04	—	—	—	—	—	—
一・一ジクロロエチレン (mg/l)	1	—	—	—	—	—	—
シス一・二ジクロロエチレン (mg/l)	0.4	—	—	—	—	—	—
一・一・一トリクロロエタン (mg/l)	3	—	—	—	—	—	—
一・一・二トリクロロエタン (mg/l)	0.06	—	—	—	—	—	—
一・三ジクロロプロペン (mg/l)	0.02	—	—	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.06	—	—	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.2	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
セレン及びその化合物 (mg/l)	0.1	—	—	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (mg/l)	5	—	—	—	—	—	—
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (mg/l)	30	—	—	—	—	—	—
フェノール類含有量 (mg/l)	5	—	—	—	—	—	—
銅含有量 (mg/l)	3	—	—	—	—	—	—
亜鉛含有量 (mg/l)	2	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄含有量 (mg/l)	10	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン含有量 (mg/l)	10	—	—	—	—	—	—
クロム含有量 (mg/l)	2	—	—	—	—	—	—
ほう素及びその化合物 (mg/l)	10	—	—	—	—	—	—
ふっ素及びその化合物 (mg/l)	8	—	—	—	—	—	—
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物 (mg/l)	100	—	—	—	—	—	—
大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	日間平均 3,000 (協)日間平均 1000	0	0	0	0	0	0
色度 (度)	(協)30	<1	<1	<1	<1	<1	<1
一・四ジオキサン (mg/l)	0.5	—	—	—	—	—	—

(注) 基準値は、水質汚濁防止法に基づく法定値である。

(注) (協)に示す数字は、地元との協定による排出基準値である。

表—9 ダイオキシン類測定結果

排ガス中ダイオキシン類濃度測定結果

施設名	基準値	東工場			
		1号炉		2号炉	
		令和6 5/24	10/4	令和6 6/18	11/20
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	1	0.00000061	0.00000099	0.00035	0.000020

施設名	基準値	西工場							
		1号炉				2号炉			
		令和6 8/1	9/2	12/2	令和7 2/3	令和6 5/31	9/3	12/3	令和7 2/4
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m <sup>3</sup> N)	0.1	0.000022	0.0014	0.000025	0.000049	0.00021	0.00032	0.000097	0.00036

測定結果：WHO-TEF (2006) による

焼却灰中ダイオキシン類濃度測定結果

施設名	基準値	東工場		西工場	
		1号炉	2号炉	1号炉	2号炉
		令和6 5/24	令和6 6/18	令和6 8/1	令和6 8/1
ダイオキシン類 (ng-TEQ/g)	3	0.0074	0.036	0.00013	0.0015

測定結果：WHO-TEF (2006) による

飛灰中ダイオキシン類濃度測定結果

施設名	基準値	東工場			
		1号炉		2号炉	
		令和6 5/24	10/4	令和6 6/18	11/20
ダイオキシン類 (ng-TEQ/g)	—	0.32	0.47	0.49	0.44

施設名	基準値	西工場	
		令和6 5/15	11/5
		ダイオキシン類 (ng-TEQ/g)	3

測定結果：WHO-TEF (2006) による

埋立処分場排水処理施設放流水中ダイオキシン類濃度測定結果

施設名	基準値	東工場埋立処分地	施設名	基準値	三京クリーンランド 埋立処分場
項目		令和6 6/7	項目		令和6 10/29
ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)	10 (協)10	0.00022	ダイオキシン類 (pg-TEQ/l)	10	0.000063

測定結果：WHO-TEF (2006) による

算出方法：毒性当量の算出については、定量下限以上の値はそのまま用い、定量下限未満の値は0(ゼロ)として算出した。

(注) 基準値は、ダイオキシン類対策特別措置法又は廃棄物処理法維持管理基準に基づく。

【 参考 】

ダイオキシン類対策特別措置法又は廃棄物処理法維持管理基準に基づく排ガス中のダイオキシン類濃度基準

燃焼室の 処理能力	新設の基準	該当施設	燃焼室の 処理能力	既設の基準		該当施設
				平成 14 年 11 月 30 日まで	平成 14 年 12 月 1 日から	
4t/h 以上	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	西工場	4t/h 以上	80 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	東工場
2t/h~4t/h	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N		2t/h~4t/h		5 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

ダイオキシン類対策特別措置法に基づくダイオキシン類濃度基準

1 廃棄物焼却炉における焼却灰の処理基準

新設の基準	該当施設	既設の基準		該当施設
		平成 14 年 11 月 30 日まで	平成 14 年 12 月 1 日から	
平成 12 年 1 月 15 日から				
3ng-TEQ/g	西工場	基準の適用を猶予	3ng-TEQ/g	東工場

2 廃棄物焼却炉における飛灰の処理基準

新設の基準	該当施設	既設の基準		該当施設
		平成 14 年 11 月 30 日まで	平成 14 年 12 月 1 日から	
平成 12 年 1 月 15 日から				
3ng-TEQ/g	西工場	基準の適用を猶予	3ng-TEQ/g	東工場は、基準を適用されない

(注) 既設の基準に該当する施設で、対象物となるばいじん及び焼却灰その他の燃え殻をセメント固化、薬剤処理又は酸抽出を行っているものについては、基準を適用しない。

東工場では、ばいじん（飛灰）を薬剤処理しているため基準は適用されない。

3 廃棄物最終処分場における放流水の基準

新設の基準	既設の基準		該当施設
	平成 13 年 1 月 14 日まで	平成 13 年 1 月 15 日から	
平成 12 年 1 月 15 日から			
10pg-TEQ/l	基準の適用を猶予	10pg-TEQ/l	東工場埋立処分地 三京クリンランド埋立処分場

